

事業所名		中核支援センターありんこキッズnest				支援プログラム		作成日		7 年	4 月	1 日
法人（事業所）理念		私たちは、【常に最新・最幸のサービスを創造、提供し続け、地域に根ざした企業活動を通じて、社会・経済に貢献する】企業を目指します。										
支援方針		機能訓練担当者が配置されており、療育の中にリハビリテーションを取り入れています。利用児を個別に評価して、家族支援、移行支援、関係機関連携を行い個々に合わせた適切な支援を行っています。										
営業時間		9	時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<健康状態の維持・改善>・健康状態の把握と対応、リハビリテーションの実施 <生活習慣や生活リズムの形成>・摂食訓練・衣服の調整・自助具の活用 <基本的生活スキルの獲得>・日常生活動作訓練・構造化等による生活環境の調整・医療的ケア児への適切なケアの実施										
	運動・感覚	<姿勢と運動の向上>・姿勢調整、筋力・バランスの維持を図る。 <身体能力の向上>・粗大運動、手先を使った活動を通して、用途に合った体の使い方の向上を図る。 <保有する感覚の活用>・色々な素材に触れ、受け入れられる感覚の幅を広げる。 <感覚の特性への対応>・感覚の状況に合わせた環境調整										
	認知・行動	<認知の特性についての理解と対応>・認知の特性を理解して適切に処理できるように支援。<空間・時間・数等の概念形成の習得>・感覚の活用や認知機能の発達。認知や行動の手がかりとなる概念の形成。数量、大小、色等の習得・知覚から行動への認知過程の発達。認知の偏りの対応。<行動障害への予防及び対応>・応用行動分析を用い、行動の理解と変容を支援。										
	言語 コミュニケーション	<コミュニケーションの基礎的能力の向上>・言語、非言語コミュニケーション能力をつける・構音訓練の実施<言語の受容と表出の支援>・話言葉以外に文字や記号、絵、写真等を用いて理解と言語を受容して表出する支援。<言語の形成と活用>・具体的な事物や体験と言葉を結びつけて自発的な発声と、体系的な言語を身につける。<人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得>・人との相互作用を通して共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援。<コミュニケーション手段の選択と活用>・指差し、身振り、サイン等の活用・音声、文字等のコミュニケーション手段の活用<状況に応じたコミュニケーション>・場や状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるように支援。<読み書きの向上>・障害の特性に合わせた読み書き能力の向上										
	人間関係 社会性	<アタッチメント（愛着行動）の形成>・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援。<模倣行動の支援>遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。<感覚運動遊びから象徴遊びへの支援>感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。<一人遊びから協同遊びへの支援>周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。<自己の理解と行動コントロールのための支援> 大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。<集団への参加への支援>集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援。SST実施。										
家族支援		<アタッチメント(愛着)の形成>・子どもとの信頼関係を育み、家族や周囲との安定した関係性を形成。<家族からの相談に関する適切な助言>・子育て困りごとの相談援助・子どもとの関わり方の助言、提案。・保護者同士の交流機会の提供。（子育てカフェの開催）<障害の特性に配慮した家庭環境の整備>・こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助。・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供。ペアレントトレーニング実施						移行支援		<園・学校への移行支援、ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備> ・具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価と支援。・移行先との支援方針、支援内容の共有や、こどもの状態と親の意向、支援方法についての伝達。・家族への情報提供。・移行先の選択についての本人や家族への相談援助。		
地域支援・地域連携		<通所するこどもにかかわる地域の関係者・関係機関と連携した支援>・こどもが通う園、通う予定の学校や在学中の学校、学童との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、個別支援計画書の作成又は見直しに関する会議の開催。・こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所における連携。						職員の質の向上		提供する障害児通所支援の質の評価を行うことと、質の向上に努める。適切な支援を安定的に提供するとともに、支援に関わる人材の知識と技術を高めるために、様々な研修の機会を確保する。日常的に職員同士が主体的に学び合えるように、職場内研修や外部研修、オンライン研修を積極的に取り入れる。		
主な行事等		・祝日は地域に出かけて、地域で暮らす他の子どもとの交流や体験学習を行う。例（買い物実践、博物館、科学館、自然と触れ合う活動、地域の講師による作品作りなど）・季節ごとに壁面の制作。・会社全体で地域に向けてフェス開催　・子育てカフェ開催										